

# 労働市場の概要（令和元年7月）

岡山労働局 職業安定課  
Tel 086-801-5103

## 雇用情勢

令和元年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.97倍となり、前月に比べ0.06ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)は1.2%減少し、有効求職者数(季節調整値)は2.0%増加した。また、新規求人数(季節調整値)は4.0%減少し、新規求職者数(季節調整値)は2.0%増加した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、製造業(4.2%減)、宿泊業・飲食サービス業(15.2%減)で減少したものの、建設業(7.4%増)、運輸・郵便業(0.5%増)、卸売・小売業(19.6%増)、医療福祉業(6.2%増)、サービス業(他に分類されないもの)(26.9%増)で増加したことから、全体では対前年同月比6.0%増と3ヶ月ぶりに増加した。新規求職者数(原数値)は、前年同月比で12.0%増となり、23ヶ月ぶりに増加した。

このような状況から、「県内の雇用情勢は、着実に改善が進む中、求人が求職を大幅に上回って推移している」と判断した。

## 1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は1.97倍となり、前月に比べ0.06ポイント低下。

### (1) 有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は54,352人で、対前年同月比(原数値比較)で1.5%増加し、対前月比(季節調整値比較)では1.2%減少した。  
○ 対前年同月比(原数値比較)で47ヶ月連続の増加となった。

### (2) 有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は28,322人で、対前年同月比(原数値比較)で1.5%増加し、対前月比(季節調整値比較)では2.0%増加した。  
○ 対前年同月比(原数値比較)で28ヶ月ぶりに増加となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は1.42倍(原数値)となった。

## 2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.63倍となり、前月に比べ0.16ポイント低下。

### (1) 新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は19,389人で、対前年同月比(原数値比較)で6.0%増加し、対前月比(季節調整値比較)では4.0%減少した。  
○ 対前年同月比(原数値比較)で3ヶ月ぶりの増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	7.4%の増加	(3ヶ月ぶりの増加)
製造業	4.2%の減少	(2ヶ月連続の減少)
運輸業・郵便業	0.5%の増加	(2ヶ月連続の増加)
卸売・小売業	19.6%の増加	(4ヶ月連続の増加)
宿泊業・飲食サービス業	15.2%の減少	(4ヶ月連続の減少)
医療・福祉	6.2%の増加	(3ヶ月連続の増加)
サービス業	26.9%の増加	(2ヶ月ぶりの増加)

(他に分類されないもの)

### (2) 新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は6,763人で、対前年同月比(原数値比較)で12.0%増加し、対前月比(季節調整値比較)では2.0%増加した。  
○ 対前年同月比(原数値比較)は23ヶ月ぶりの増加となった。

## 3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は605,318人で、対前年同月比1.4%の増加となり、115ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は7,859人で、対前年同月比22.3%の増加となり、受給率は1.3%となった。